



「本が好き 自分が好き 明日が好き」

東京都子ども読書推進フォーラムを開催しました

東京都教育委員会は、広く都民の皆様にご子ども読書活動の意義や重要性について理解と関心を深めていただくために、「平成16年度東京都子ども読書推進フォーラム」を10月9日(土)に都庁で開催しました。

当日は、台風のため悪天候でしたが、親子連れや出版社、図書館職員など約200名もの参加がありました。

子どもの読書活動優秀実践団体として文部科学大臣表彰を受賞した「山の木文庫」と「小平市子ども文庫連絡協議会」の読み聞かせや言葉遊びに、ステージの前に集まった子どもたちは目を輝かせて喜んでいました。

また、後半の講演会では、児童文学作家の杉山亮さんが、「子どもが本を読むためには、家庭や学校で大人が積極的に本を読むきっかけを与えることが必要だ。」と語られました。

参加者からは、「子どもに本をすすめるうえで、杉山さんの話がとてもためになりました」、「親子共々、子どもの読書活動優秀実践団体の実演会を楽しみました。台風の中、来た甲斐がありました」といった感想が多く寄せられました。

東京都子ども読書活動推進計画

読書は子どもの豊かな感性や情操、国語力などをはぐくむ上で欠くことのできないものであり、社会全体で子どもの読書活動を推進していくことは極めて重要です。

東京都教育委員会は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」第9条第1項の規定に基づき、平成15年3月に「東京都子ども読書活動推進計画」を策定しました。現在、推進計画に基づいて、「都立図書館こどもホームページ」の開設、シンポジウムの開催、読書活動推進校の指定など様々な事業や取組を実施しています。

計画の全文は、東京都教育委員会ホームページに掲載されています。

<http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/>



三宅島島民の帰島に向け都民の皆さんの力強い御支援を！

三宅島島民の方々の避難生活が4年もの長期にわたる中で、島内の住宅は荒れ果て、家財道具もほとんど使用できない状況になっています。このような中で、三宅村は17年2月を目途に帰島する方針を決定しましたが、帰島後も当面は収入も安定せず、これまでの避難生活以上に厳しい生活を余儀なくされることが予想されます。

島民の方々の帰島の準備及び生活再建を支援するために、改めて都民の皆さんのご支援・ご寄付をよろしく願いいたします。

お問い合わせ先
東京都福祉保健局国民健康保険課
電話03-5320-4164

義援金の振込先

受付機関名		義 援 金 振 込 口 座	
		口 座 名	口 座 番 号
郵便振込	東京都	東京都島しょ災害義援金口座	00150-1-100220
銀行振込	東京都	みずほ銀行・東京都庁出張所 東京都島しょ災害義援金口座	(普)2334133

郵便局及びみずほ銀行本支店における「窓口取扱い」には、振込手数料がかかりません。

東京都交響楽団 三宅島支援チャリティコンサート(第6回)

1月29日(土)14時 東京芸術劇場
指揮/ジャン・フルネ 司会/頼近美津子
都響の名手達によるチェロ・アンサンブル、金管楽器アンサンブルとオーケストラ
ピゼー:「アルルの女」第2組曲、ラヴェル:ボレロ 他
S¥5,000 A¥4,000 B¥3,000 C¥2,000
演奏会の収益金は三宅村災害義援金口座に振り込みます。
お問い合わせ先 都響事務局電話03-3822-0727
東京都交響楽団 <http://www.tmso.or.jp>
(8ページの「クリップ情報」にも掲載されています。)

